

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 平成 28 年 5 月 18 日(水)

2、開催場所 燕三条エフエム放送株式会社

3、委員の出席

・委員総数 8 名

・出席委員数 6 名

・出席委員の氏名 . . 小林 一則委員長、田邊とも子委員、瀬戸 明委員、遠藤 愛子
委員、市島 清貴委員、近藤 晴美委員

・欠席委員の氏名 . . 吉田 文彦委員、田辺 一幸委員

・放送事業者側出席者 . . 阿部取締役、阿部局長、馬場本部長、

4、委員長挨拶 小林委員長

本日もお忙しいなかお集まり頂きありがとうございます。今日はいい天気になり燕三条駅は今日から衣替えを実施し、駅員は半袖の夏らしい装いで接客させてもらっています。ゴールデンウィークの首都圏～新潟の動きは前年並みで、北陸・北海道新幹線の影響を受ける減少するかと思いましたが、新潟～越後湯沢間に現美新幹線がプラスになったと思います。現在は 6 月末までの予定しか発表していませんが、早急にプレスしたいと思います。

またトランスシートという定員 34 名の豪華列車が走ることになり最高金額は 3 泊 4 日で 1 名 95 万円という信じられない値段設定ですが、200 名以上の応募があり抽選になるようです。4 日目の朝、岡の加茂水族館を見学したのち新津駅で、バスに乗り換え燕市の玉川堂で鍮起銅器の体験をした後東三条駅から東京へ帰るルートになっています。今後も燕三条のアピールができ、首都圏から多くのお客が訪れてくれるようになればいいと感じております。

5、事業者側経過報告 阿部取締役

前回の番組審議会でお話しさせて頂いた三条市議の発言の余波はまだまだ続いており、昨日も毎日新聞社から取材を受けました。市議と弊社スタッフの直接の話し合いを要望している記者の方も多くおられるので、その辺も視野に入れていきたいと思っておりますが、この2か月でいろいろな所で弊社の認識も広がっていることを実感しており、三条市長・燕市長が番組出演された時も多くのリスナーがスタジオ前に詰めかけ手狭になっているので、サテライトスタジオの建築等も考えています。

本日もご審議宜しくお願い致します。

6、議題内容

- (1) 「さと・さんぽ」について
- (2) 次回の番組審議委員会の日程について

7、議事内容

小林委員長：それでは、(1)「さと・さんぽ」の審議を始めたいと思います事業者の説明をお願いします。

馬場本部長：弊社の人気パーソナリティ「さとちん」を起用して、商店街や一般の住宅地に直接伺ってそこから生放送する事で、「ラジオは〜と」をより多くの方から認知してもらうという番組を企画しました。その練習ということで「さとちん電波」の番組内で模擬番組を放送しました。その音源の一部を流しますので皆様からご意見を頂きより良い番組作りを行っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

～試聴～

市島 委員：「お菊」は話術がうまくなり、メジャーでやってもいいと思えるようになりましたが、今回はスタジオの中での会話はいつも通りで良いと思いますが、今回外にでての放送では、登場人物が多すぎて、ラジオは耳でしか情報を入手できないので、良く考えて放送して欲しい。

瀬戸 委員：商店街をターゲットに放送するのは大変良いことだと思いますが、今回の放送では、番組の出演者の紹介が少なくよくわからないので、注意して欲しい。

遠藤 委員：言葉使いがかなり乱暴な所が見受けられたので、たまにはそういった言葉も笑いがとれて良いと思いますが、その所を注意して欲しい。

近藤 委員：下品というか、もっと普通に話して、その場所の情報をもっと織り交ぜながら、今度行ってみようかなというような気持ちにさせる番組作りをしてほしいです。

市島 委員：お菊が普通のアナウンサーの様になって番組を仕切っていくのか、他のアナ

ウンサーを使って暴走し始めたらストップさせるようにして欲しいです。

阿部取締役：今回は試験的な番組だったので、良く知っている方の所に行つての放送だったので、紹介等も足らず暴走してしまいました。生放送の音源を街宣車から外に出しているの、ラジオ番組と「ラヂオは〜と」の存在を知ってもらえると考えております。

田邊 委員：60 分の番組だと、NHK の「家族に乾杯」をイメージするので、その番組を見習いもっと落ち着いて話した方が良いと思います。

近藤 委員：平日の午後の番組だとすると、人が集まる所を目指し色々なコースや設定を考えてやったら良いと思います。

市島 委員：スタジオにアナウンサーをおいて置き、やりとりをしたり、さとちんが暴走し始めたらスタジオからストップさせるような放送でも良いと思います。

近藤 委員：リスナーを増やすためとは言っても、それぞれの回にテーマを持たせてやると良いと思いますが、面白い放送でないと聴衆者は聞かないのでさじ加減が難しいと思いますが。

田邊 委員：パーソナリティ「さとちん」という個性を全面に出すのではなく、焦点はインタビューしている相手なので、相手をもっと引き上げるような話をして欲しいと思います。

近藤 委員：ジーンと感動するような話は良いですね。

田邊 委員：知らない人の人生観を聞くのは楽しいですから。

市島 委員：今回の番組でも、100 年間続いているお店は珍しいのだから、それを掘り下げていけば良かったと思います。

遠藤 委員：ご近所で 2 店舗とも 100 年続いているお店は珍しいですからね。

馬場本部長：今日は、貴重なご意見ありがとうございました。本日のご意見を反映させていきますので宜しくお願い致します。

小林委員長：続きまして、(2) 次回の番組審議委員会の日程についてお願いいたします。

阿部 局長：7 月 27 日 (水) 午後 1 時 30 分からでお願い致します。

小林委員長：今日は皆さんお疲れ様でした。次回も宜しくお願い致します。

8、審議機関の答申又は改善意見に対してとつた措置及びその措置年月日

特になし

9、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日

書類のエントレンスホールへの備置き

web サイト上に記載

10、その他、参考となる事項

特になし